

復旦大学高蒙河教授との共同研究活動報告書

2014年3月31日

2013年11月15日、高蒙河教授が和歌山大学に到着した。12月14日までの滞在期間中に次のような研究活動を行った。

- (1) 和歌山大学図書館所蔵の考古学研究関連資料及び紀州藩文庫資料を調べた。一部の資料は撮影や複写をした。
- (2) 関西大学図書館所蔵の考古学関連資料を調べ、沈国威教授ら研究者と研究の打ち合わせをした。
- (3) 大阪府立弥生文化博物館（大阪府和泉市）を視察した。
- (4) 大阪大学考古学研究室を訪問、福永信哉教授らと研究の打ち合わせをした。
- (5) 金沢学院大学文化財学科（金沢市）を訪問、小嶋芳孝教授らと研究の打ち合わせをした。
- (6) 石川県歴史博物館（金沢市）を視察した。
- (7) 石川県埋蔵財文化センター（金沢市）を視察した。
- (8) 東京大学考古学研究室を訪問、大貫静夫教授らと研究の打ち合わせをした。
- (9) 横浜国立大学を訪問・視察した。
- (10) 静岡県初音ヶ原にある先土器時代と縄文草創期の遺跡の現地視察・調査をした。
（以上順不同）
- (11) 和歌山大学経済学会主催の学術講演会で、『中国帝王陵の考古発掘』というテーマの講演を行った。中国歴史上の主な王陵（秦始皇帝陵、前漢景帝陵、曹操陵、隋煬帝陵、武則天陵、明十三陵、西太后陵）の紹介及びこれらの王陵に関する考古学調査・発掘などの状況、関連の資料・写真などを使って紹介した。

上記のほか、主な研究活動は受け入れ教員王妙発との研究打ち合わせです。主なテーマは『考古地理学概論』の編集問題で、この本の各章の構成・資料の採取範囲・編集方法・出版社との交渉など、長時間をかけて議論・検討をした。2014年内にこの本の編集を完成し・出版社に提出するとの計画を立てている。

以上。

受け入れ教員 王妙発